

議会だより

えりも

創刊号

議会改革の概要 3P
「議員と語る会」 5P
一般質問 町税等の徴収について 6P

議会だより創刊号発行にあたって

身近な議会を目指して!



えりも町議会議長
渡部 泰

町民の皆様には、日頃より町議会の活動に対しましてご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、地方分権が進展する中、個性豊かで活力ある地域社会を創造するためには、地方自治体の自主性や自立性がより強く求められるとともに、地方議会の果たすべき役割もますます重要となっております。

さて、地方分権が進展する中、個性豊かで活力ある地域社会を創造するためには、地方自治体の自主性や自立性がより強く求められるとともに、地方議会の果たすべき役割もますます重要となっております。

えりも町議会では、地方分権社会・情報化時代にふさわしい開かれた議会を目指すとともに、議会の機能を充実発展させていくために、議会改革に取り組んでおります。その一環として、議会の取り組



広報特別委員会委員長
石川 昭彦

議会だより創刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。町民の皆様には夏の繁忙期を迎え何かと忙しく、また期待をこめて汗を流している頃と思います。さてこの度、私達えりも町議会は初めて議会だよりを発行することと致しました。年に4回、定例議会の開催毎に発行する予定でおります。内容は議員活動の太宗である一般質問がメインとなりますが、委員会報告や所管事務調査・視察・意見書などについてもお知らせしたいと思います。

この度発行の議会だよりには、皆様と意見交換のための「議員と語る会」を町内9か所で行いました。人口の減少や少子高齢化が進む中で産業の発展や住民の安心・安全をどうすれば守れるのか、町のはじめに議会だよりを発行は今後様々な創意工夫が必要と思われま

今後とも町民本意の町政と開かれた町議会を目指してまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。創刊のあいさつとさせていただきます。

今後とも町民本意の町政と開かれた町議会を目指してまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。創刊のあいさつとさせていただきます。

地方分権が進む中、町長や議員の責任はますます重くなつて参ります。えりも町議会は町の未来を担う子供達の意見を聞くために、昨年からは子供議会を開催し、今年4月には一般町民

議会改革の概要

えりも町議会では多様な住民の意見を反映し集約する機能を果たし、議会が地方公共団体の意思を決定する機関として、適切な役割を担えるよう環境を整備することを目的とし、昨年9月に議会改革特別委員会を設置しました。地方分権時代の要請に応えた議会の活性化という観点を十分に踏まえ、計5回にわたり委員会を開催し調査、慎重な議論を重ね、本年3月定例議会にて報告いたしました。

議会改革の三本柱

情報公開

住民参加

議会機能強化

議会広報の発行
積極的に情報を公開し透明性のある信頼される議会を目指します。また、協働を推進するためには行政と町民の情報共有は不可欠なものとなります。必要な情報、要望される情報を広報やインターネット等の様々な手段を模索し、わかりやすくして便利な情報公開を目指します。

議会報告会の開催
議会は町民に開かれていなければならない。町民は議会に参画できなければならぬ。いつでも町民に説明責任が果たせる体制の整備、議会としての地域報告会等の開催、また恒例となりました子ども議会も議会も継続して行っていくと考えるております。

議員勉強会の実施
議会の質の向上が第一に必要。それには議員自身が使命感と自覚を持ち研鑽を重ねなければなりません。地方分権の新時代をいかに議会として対処していくのか。また、自治立法権の重要な役割並びに議会の議決権の中で筆頭に掲げられる条例の制定や改廃等、審議能力の向上を図るため議会勉強会を随時開催していきます。

定例会の概要

定例町議会は、平成24年3月7日に開会、会期を16日までの10日間としました。新年度予算をはじめ、条例の一部改正などを審議し、いずれも原案通り可決、閉会しました。

3月定例町議会

平成24年度

一般会計予算可決

総額43億7000万円

本年度の主な事業



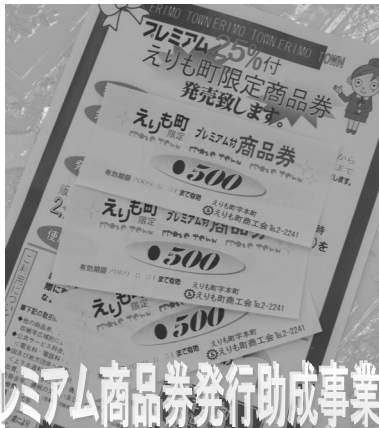
えりも町交流館の開設



住宅改修工事助成事業



スクールバス購入事業



プレミアム商品券発行助成事業



防災・災害対策関連事業



放課後児童クラブの設置

継続事業

特別支援学校就学者交通費助成事業
 浦河赤十字病院増改築事業補助金
 子宮頸癌・ヒブワクチン・肺炎球菌予防接種事業
 保健師・看護師等奨学資金貸付事業
 名勝ピリカノカ襟裳岬周知事業
 えりもウニまつり実行委員会補助金
 えりも高校海外実践研修旅行助成金
 森林基幹道えりも線改修事業負担金

風の館関連グッズ販売事業
 道路整備事業
 公営住宅整備事業
 えりも港湾の整備
 東部簡易水道送水管更新事業
 エゾシカ被害対策事業
 水産生産基盤整備事業



平成24年4月17日から4月25日にかけて町内9会場で議会報告会「議員と語る会」を開催しました。

議員と語る会

議会報告会については議会改革特別委員会でも年1回程度開催を規定しており、その主旨に基づき町内9か所を会場として開催しました。議会側としては初めての試みということで町民への説明がまだまだ充分とは言えないながらも算の概要と主な事業を中心に説明し、町政全般にわたって意見交換を行いました。

本来民意の吸収は議会の重要な仕事であるということ、言うまでもありません。参加した住民からも町政懇談会とは区別された議会側に対する要望が数多くなされ、一定の評価をいただきました。今回のいただいた貴重なご意見は今後の議会活動に反映させてまいります。語る会を切っ掛けに更なる開かれた議会をめざし、町民の皆さんとの触れ合いを大事に一体となった町づくりが進められるよう議会として努力してまいります。

近浦地区 渡部/川村/大坂/手塚
4月17日(火)
近浦多目的集会施設 6名

ニカンベツ川の河口整備
老朽化する近浦町営住宅の改修
低地にある消防番屋の移転
農業振興

庶野地区 渡部/川村/大坂
4月18日(水)
庶野生活館 8名

新築住宅の海拔制限
税金の滞納対策
漂流物の処分について
議会報告会の徹底周知
民間の港湾利用

本町地区 成田/上野/平野/高松
4月24日(火)
福祉センター 5名

学力の向上
老人ホームの増床
自殺防止やいじめ対策
道の駅の設置

大和地区 成田/上野/平野/高松
4月23日(月)
西えりも生活館 12名

税金の滞納・増収対策
災害時急病人の搬送体制整備

目黒地区 渡部/川村/大坂/手塚
4月21日(土)
目黒生活館 13名

津波時の避難場所の整備
悪天候時の通行止め対策
地デジや光の説明

歌別地区 石川/吉田/笹谷
4月17日(火)
歌別生活館 3名

議員と語る会は継続してほしい
保育所の親子避難訓練の開催
診療所の待ち時間改善

笛舞地区 石川/吉田/笹谷
4月16日(月)
笛舞ふれあい館 12名

交流館よりも住宅難の解消を
教員住宅の修繕・公住転用
新築住宅の補助を増額
老朽化する作業所の処分
災害時の備蓄
役場職員の窓口対応の改善
ジェネリック医薬品の積極導入
アベヤキ川魚道整備

岬地区 成田/上野/平野/高松
4月25日(水)
林業総合センター 6名

交流館ひなたの必要性に疑問
観光客を増やす取り組みの強化
神社等文化施設の観光利用
鹿駆除報奨金不正受給対策
診療所の待ち時間の短縮
地域への災害弱者個人情報の開示
風力発電開発

東洋地区 石川/吉田/笹谷
4月18日(水)
東洋生活館 3名

後継者用住宅の整備
看護学生奨学金の周知
小学校の統廃合
企画課の企画力
町議はもっと活発な活動を

一般質問

町税等の徴収について

吉田和正 議員



吉田議員 ①2月に管内で税金等の横領事件がありました。当町でも過去に同様の事件がありましたので未然防止の観点から質問します。現在の税の徴収体制、収納事務の流れはどうか、又、使用料等、他課についてはどうか？

②公金を1人で扱う事が事件につながりやすいようです。当町では過去の反省から「1人徴収」は内規で禁じていますが、事件の記憶も薄れる中でルールは守られているのか、1人徴収はないのか？

③滞納金等を徴収員が立替える事があると耳にしましたが、もし事実なら公金を私人が扱う事になります。そんなことがあり得るのか、法的にはどんな問題が生じるのか、内規ではどう規定されているのか？

税務課長 現年、滞納分の対象者名簿により各戸徴収を実施し、「徴収金引継書」により出納窓口へ引き継ぎます。消込処理は出納室で実施し、徴収と消込を区分処理しており、以前のような問題は発生しない

と考えます。なお他課においても同様の処理をしています。



今回の他町の例は、徴収と収納処理を1人の職員が兼ねていたことが問題で、当町では適切に区分処理しています。徴収は必ず複数で行うことが内規で決まっていますので、通常は1人徴収することはありませんが、年末や年度末など職員の数が足りずやむを得ずに1人徴収することが年に数件あります。ただこの場合

でも台帳の共有や訪問先、分納額の把握、チェック体制など万全を期していますのでご理解をいただきたいと思えます。

徴収員の立替はないと確信しています。立替行為は基本的に考えられませんので、法的にも町の内規でも明文化されたものではありません。

吉田議員 公金を扱う職員に町民の目を意識して緊張感を持つてもらうためにも「1人徴収は禁じています。1人で来た時は絶対に納めないでほしい。過去に立替えや1人徴収があった人は連絡下さい」という旨をぜひ広報等に掲載して、町長の厳しい姿勢を示してほしいと思うが？

漁業後継者対策について

石川昭彦 議員



石川議員 漁業後継者への国の支援は非常に少ない。漁業の町えりもとして漁業への新規参入者や後継者に対して何らかの支援をするつもりはないか。

産業振興課長 漁業への新規参入については様々な条件があり非常に難しいと考えております。漁船漁業や定置漁業の乗組員として働くことは出来ませんが、昆布漁業については組合の定款からして新規参入には年数がかかることもあり支援の必要性



の有無も含めて関係機関との協議をしていきたい。後継者については、組合としてあまり深刻化していないが、将来に向けて検討していきたいと、町としても今後組合や関係者と協議検討を進めていきたい。

町長 職員の手が足りないとは言え忙しい時期には他課の職員も互いに協力し合うなど、複数徴収の原則は絶対に守らないといけない。そうした事例がある以上、広報で周知するかどうかは後程検討させていただきたいが、あってはならない事をやったことについてはお詫び申し上げます。今後は絶対に複数徴収を守っていくことを約束したいと思えます。次に税金の立替は考えられませんが、町民の中にそうした疑問があるとするれば、過去も含めて私なりに調査し、こうしたことがあってはならないことを公金を扱う職員全体に向けて訓示を与えていきたいと思えます。

住宅改修工事助成事業について

石川昭彦 議員



石川議員 町はこの事業の目的として「快適で良質な住環境の整備」と「建設産業の振興」の2点をあげているが、岩本町長は日頃から安全・安心の町作りを主張していることからして、私はもうひとつ「災害に強い住宅作り」という項目を入れ、津波の危険がある場所からの住宅移転に対しては更なる補助金を出して安全な町作りを進めるべきと思うが町の考えを伺いたい。

建設水道課長 現在北海道ではハザードマップの修正作業を行っており、町としてはこの修正データを基に早い段階に修正を行い、まずは津波による被害がどの程度まで及ぶの



か等を町民にお知らせすることが先決であると考えております。

エゾシカ対策について

石川昭彦 議員



石川議員 シカ侵入防止フェンスの保守・点検についてどのように考えているか。

シカの有害駆除報償金については個体回収の有無によって6000円と8000円になっているが、回収には労力もかかり、回収率をより上げるためにも5000円と9000円に出来ないか。

シカ肉の利用法についてどのような

な方法を考えているか。

産業振興課長

柵の管理については町が行いますので破損などがあればお知らせ願いたい。有害駆除の報償金については広域協議会で決めており、当面は現行のままを進めたい。鹿肉の利用方法については管理者を特定し衛生面での問題をクリアし更に加工販売が出来るように努力をしていきたいと考えている。

学校内でのいじめ防止について

石川昭彦 議員



石川議員 ①中学校内でのいじめの実態はあるのか。生徒や保護者からの相談に対してどのような対応をしたか。

②昨年の転落事故についての責任をどう考えているか。

③いじめ防止のため今後どのような取り組みをするつもりか。

④「心の教育の充実」について具体的に何をしていくのか。

生涯学習課長

いじめの実態については昨年保護者から訴えがあり、該当する生徒に対し担任や部活顧問が指導したと報告を受けております。転落事故の賠償については現在まだ調査中であり現時点での答弁は控えさせていただきます。事故原因が解り次第責任を持って真摯に対応したい。



今後は更に「命の大切さ」「他を思いやる心」を育むために生徒指導や道徳教育の推進を図って参ります。



廃棄物処理手数料の見直しについて

高松亮裕 議員



高松議員 えりも町指定のごみ袋の金額をもっと安くできませんか。
 次の表のとおりえりも町のごみ袋の金額は、近隣町と比べて高額であり町民の負担が大きいので見直しをすべきではありませんか。

燃やせるごみ用の袋1枚あたりの金額				
	えりも町	様似町	浦河町	広尾町
20L	100円	80円	40円	30円
30L	150円	120円	60円	50円

町民生活課長 当初「ごみダイエット推進協議会」が設立され、ごみの排出量・収集運搬経費・焼却施設の経費などを考慮したうえで料金が検討され、その答申を尊重し、条例等を整備の上、議会の議決を経て今日に至っております。
 その後、最終処分場・リサイクル

センターの建設や清掃センターの老朽化による施設・設備の修繕等、財政的にも厳しい状況にあります。
 ごみの手数料は安価であればよいのですが、ぜひとも「ごみの排出抑制による手数料の減額」の方を目を向けていただきたいと思います。

この春より「プラスチックごみの資源化」を予定しており、今まで可燃ごみとして扱っていましたがプラスチックごみを洗って資源化することで、ごみの減量化による手数料の減額や焼却施設の延命にもつながるという観点から、現段階では料金改定を考慮していませんのでご理解をいただきたい。

高松議員 ごみを処理場へ直接搬入する場合、その場で現金で支払うことはできませんか。

町民生活課長 確かに、計量後でなければ証紙の枚数がわからず、不足の場合、再び証紙を販売店に買いに行かなければならず、不便をおかけしております。

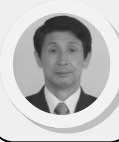
現在の状況では、分別の説明などにより窓口が不在になることや、職員が1人になった場合の不正行為の発生等も懸念されることから現金を

取り扱うことは控えたのでご理解いただきたい。

高松議員 えりも町においても財政的に厳しい状況は理解しますが、近隣町と比較してこれだけの格差があるという現実、また不正行為が行われることを前提として現金の取り扱いを控えたいというのはいかがなものでしょうか。町民に対する行政サービスという視点にたつて、廃棄物処理全般にわたる見直しを検討されることを強く要望いたします。

災害対応消防団リーダー育成について

大坂庄吉 議員



大坂議員 災害対応消防団リーダー育成について、消防庁は東日本大震災を踏まえ、消防団員の安全確保と災害時の対応能力アップに向け平成24年度からリーダーとなる災害対応指導者を育成することを決めたこと認識していますが消防団の取り組みについて伺います。

消防支署長 平成24年度において消防庁が47都道府県単位で研修会の開催を予定しておりますので、その研修会に消防団の幹部を派遣し、学んだ内容をえりも町消防団に還元して災害対応への知識の向上に勤めて参りたいと考えております。



命とこころの大切さについて

大坂庄吉 議員



大坂議員 警察庁によると平成22年度における我が国の自殺者数は3万人以上を数え、平成9年以降13年連続で3万人を超える事態となっている。平成22年度の道内の自殺者数は1393人で一日に約4人が自殺で亡くなっている。東部3町でも平成22年の自殺数は12人で男性が10人女性が2人になっている。かつて交通戦争とまでいわれた交通事故死者数は4863人であり自殺の深刻さがうかがえる。平成18年には自殺対策基本法が制定され自殺の予防に向け、自治体はより一層取組を強化しなければなりません。

当町での自殺対策事業は、講演会、研修会、うつスクリーニングを実施する予定ですが、この命とこころの問題に効果的な手だてになることと認識しております。

①相談窓口となる各種の実績から人権擁護委員、民生・児童委員、保健予防係、法律相談など、昨年度の人数はどれくらいでしょうか。問題となった点の解決方法はどうか。問題となっているか、命の危険に気づく点はどうなっていたのか、所見を伺います。
②福祉サービスを利用しない高齢者

や、障害者らの生活実態調査を行うかなどについて見解を伺います。

③町内の小学校では読書活動を進めています。学校図書の中に命の大切さや尊さが伝わってくる本のコーナーを設置し先生、保護者の方々にも活用してもらうことについて見解を伺います。

④保育園や幼稚園、小学校などで読み聞かせや、ビデオなどの取り組みについてはどうなのか伺います。

⑤学校から協力が得られることができるのであれば生徒が啓発ポスターを作成することによって予防啓発の取り組みになると思いますが見解を伺います。

保健福祉課長 人権擁護委員、民生・児童委員について

は相談者はいませんか。保健予防係では精神的な不安定さに関しての事例が2件、アルコール依存関係で2件、法律相談について4人、生活実態調査については今後検討すべき課題と考えております。今回電気事業者等による生活に困っている方の情報提供が検討されており、注視、新たに情報共有などの連携ができるのであればその情報をもとに「孤立」させないための見守りのあり方を構

築しなければならぬ。

生涯学習課長 学校の図書分類に

従って分類しているため、命の大切さや尊さを表現したコーナーは設けていないと聞きます。保護者に対しては十分な活用を図る指導助言は行っていないと思っておりますが、参観日等で本の紹介をしているところもあります。特に学級においては命の大切さについては道徳の時間で計画的に継続して指導することに注力しており年間指導計画に従って計画的に指導しております。その時に活用している指導資料の心のノート

や副読本から命の大切さ、尊さの物語を活用した指導を進めています。

保育所では絵本、紙芝居、ビデオでも保育所と同じような内容と特に礼拝のときや草花を通して行なっていると聞いています。

啓発ポスターとご質問については本年度実施する予定はございません。自殺予防対策でこころの病に関する講演会等やうつスクリーニングなどの具体的な取組を行いますのでこれらを優先いたしますのでご理解願います。

学生ボランティアバンク事業について

大坂庄吉 議員



大坂議員 学生ボランティアバンク事業について平成22年度から始めた小中学校の補修などに大学生を派遣する道教委の学生ボランティアバンク事業が2年目を迎えている。子供の学力向上を図るとともに教員を目指す学生の経験の場として教育現場を知る良い経験となっている。受け入れ側の学校にとっても学生ボランティアは好評と聞くことがありますが見解を伺います。

補助を行うこととされ休日や長期休業中の5日間を実施期間とするとされております。活用については運営面の対策を考えながら学校協議を進め検討して参りたいと思っております。

生涯学習課長 事業の内容は休日

及び長期休業中の学習習慣形成のため、学生ボランティアを派遣し指導の計画に基づいた児童生徒への指導の



障害児童の中高一貫教育について

手塚裕警 議員



手塚議員 町内には障害を持った児童が複数いる。中学までは特別支援学級で学べるが、高校になると町外へ出るといふ選択支を取らざるを得ない。当町は障害者の中高一貫教育をどのように考えているか？また、実施に当たっての課題は何か？

ため基礎基本を学ぶところと考えますと、障害を持つ生徒は、障害に応じた特別支援学校で学ぶことが望ましいと考えます。基本的には障害を持った生徒のえりも高校への入学はできないと考えますが、えりも高校の入学が望ましく高校生活に耐えら

生涯学習課長 特別支援教育には特別支援学校と特別支援学級の2つの方法があります。もし当町で、えりも中学校の特別支援学級の生徒がえりも高校に入学を希望した場合、就学指導委員会における判断とえりも高校の教育に耐えられるか、基礎基本の学習が身についているかを検討して、高校長が決定することになります。高校教育は自分の将来の目標を達成するためや社会で活躍する



れると判断したのなら、障害の程度による施設の改善、特別支援担当教員の配置、保護者の協力、生徒の協力、教員の協力が必要と考えます。

複合施設について

手塚裕警 議員



手塚議員 役場内では老朽化の進む公共施設を再編し、複合施設の設置に向けて検討が始まったが、その進捗状況は？各課から集約した意見はどのようなものであったか？町民からの意見集約はどのような形で行うのか？

企画課長 現段階では老朽化等建て替えが必要な施設の現状把握と施設の更新等に合わせて何が出来るかを集約している段階でありまして議員お尋ねのところまで至っていないのが現状であります。各課へは複合施設の建設に向けた

検討資料とするため職員から意見・提案を募集したものであります。詳細は現在精査している段階です。すでにご理解願います。

町民からの意見集約に関しては町としての一定の方向性が決まった段階で基本設計に入るわけですが、その時点で町民や各種団体を交えた検討委員会を設置し、基本設計に関する意見を述べていただくことになろうかと考えているところです。



インターネットの活用について

手塚裕警 議員



手塚議員 近隣各町がブログやソーシャルネットワークキングサービ（SNS）といった新たなツールを使って情報発信をしている。それに比べ当町のホームページは情報量や更新頻度が圧倒的に少ない。ネットを使った情報発信の重要性をどのように考えているか？このたび日高町も導入したフェイスブックの活用も検討してみてもは？

ジにも掲載していく予定です。フェイスブックは便利で有効なものと思われませんが、相互にやりとりが出来る反面、意見や情報に対して返答など即対応が必要とされること予想されます。管内で開設している日高町は職員3人態勢で対応している状態であり、当町の今の職員数では難しいものと思っております。あります。いずれにしてもピアールの為の情報発信は重要なことでありますので各課と連携を図りながら現在のホームページをより充実させるべき対応を検討して参りますのでご理解願います。

総務課長

現代社会においては、インターネットは重要な情報発信源だと認識しているところであり、将来的には、当町のホームページの充実を図るため、各課係などで予定されている事業や催しなどを町民向けのチラシ配布と同時にホームページ



あります。いずれにしてもピアールの為の情報発信は重要なことでありますので各課と連携を図りながら現在のホームページをより充実させるべき対応を検討して参りますのでご理解願います。

少年団のスクールバス利用について

手塚裕警 議員



手塚議員 スポーツ少年団が町外へ遠征する場合のスクールバスの利用制限を無くす。若しくは利用回数を増やすことは出来ないのでしょうか？

生涯学習課長 スクールバスという性格上学校教育に係る諸行事の運行が優先され、運行予定のない日の有効活用だと言うことをご理解願いたいと思います。スポーツ少年団以外にも社会教育関



係団体は多岐にわたっており、これらの団体に公平かつ平等にスクールバス利用の機会を提供するとなれば、一定の基準線が必要になり回数制限をなくすということについては困難で、また運転に携わる運転職員の労務管理上からも限界に近いことから現状維持でと考えておりますのでご理解願います。

フッ素化物洗口の取組について

上野勝廣 議員



上野議員 北海道は、平成21年「北海道、歯、口腔の健康づくり8020推進条例」を制定目標として平成22年より24年度の3年間で取組を各自自治体に依頼しております。その背景には、とりわけ、北海道は全国的に見ましても12歳児のむし歯数が多い事に有ります。かつて、当町におきましても「えりもむし歯」と称された事もあり、効果的な歯科保健対策の推進を継続して行う

ことが大事かと思えます。去る20日、新聞報道されましたように、本年度までに実施したのは、96市町村の54パーセントと報じられております。このことは、実施にあたり、現場で、問題点を指摘、戸惑いもあるようですが、町長は、執行方針で歯科保健事業の課題として述べている「フッ素化物洗口」の実施に向けて関係者との、合意形成に努めることとなっておりますが、目標最終年度

でもあり、次の点についてお伺い致します。①現状はどうか。②今年度は具体的に何をやるのか。③当初予算に盛り込まれていないようだが、経費はどのようになるのか。④管内の状況は。

保健福祉課長 町の歯科保健対策会議で「フッ素化物洗口の効果」といった観点で取り上げてはおりますが、実施には至っておらず、その予定も今のところないということでございます。

今年度は各実施機関に実施に向けた検討をお願いし、課題や問題点の洗い出し、その対応方法に積極的に関わり、実施の道筋をつけたいと考えております。

実施にあたっては、100人分のうがいに要する経費が6万円程度です。ので大きい金額にはならないものと考えています。ただ実施にあたっては教員や保護者の理解を得ながら進める必要があるため具体的な予算計上はしていません。

日高管内の状況についてですが7町のうち実施に向けた取り組みがないのが本町を含め2町。実施しているのが3町。あとの2町は担当者レベルで実施に向けた動きがあるそうでございます。

上野議員 本件の担当課は、答弁頂いたように保健福祉課であるが、実際の現場指導はそれぞれ児童が置

かれている状態によって異なるようであるが、おもに、教育委員会、又は、町民課などの対応かと思われるが、現状を踏まえ、各担当課推進にあたって、今、どのようなお考えになっているか、お伺い致します。

町民生活課長 保育所としてメリットだとか安全性、対策などを保育士の勉強会を通じ検討してまいります。

教育長 特に低学年が中心となりますので安全性、やり方等を保護者も交えまして共通理解を図っていきたいと思います。

上野議員 普段からの意識の低さが、重大な結果になってしまふ。前途有望な次代を担う大切な子供達の永久歯を永久に残してあげる歯の健康づくりが出来ますように、合意・構築・推進されますことを強く望み、質問を終わります。



いま、えりもが注目されています

猿留山道

N42度の会が国土交通省の平成23年度「手づくり郷土（ふるさと）賞」の一般部門に道内から唯一選ばれ、さらに地域資源の掘り起こしのために、町内広域の散策路（フットパス）整備活動を行い、周辺地域の山道復元活動と連携するなど広域的な取り組みを進めています。



議会のおもなうごき

- 1月17日 管内軽種馬議連役員会
- 2月 3日 交通災害共済組合議会
- 3月 2日 議会運営委員会
- 3月 7日 全員協議会
第7回定例会
- 3月15日 第7回定例会
予算特別委員会
- 3月16日 予算特別委員会
第7回定例会
- 3月23日 日高東部消防組合議会
日高東部衛生組合議会
- 3月26日 馬産地活性化化学習会
- 4月16日 議会報告会（～25日）
- 5月18日 水資源保全条例説明会

えりもの豆知識

えりも町内の地名の多くはアイヌ語地名に由来していますが、中には日本語由来の地名もあります。昭和17年町内の字名地番が改正された際、猿留（さるる）から目黒に改称されました。目黒は、最初の開拓者の1人として函館から移住した目黒源吉（鋳物師）に由来します。猿留はアイヌ語のサロロペツ（ヨシ原の中にある川）から転じています。（笹谷）

ピリカノカ

日高山脈襟裳国定公園の拠点、襟裳岬が平成22年8月に国指定文化財「名勝・ピリカノカ襟裳岬（オンネエンルム）」に指定されました。ピリカノカとは、アイヌ語で「美しい形」を意味し、道内においてアイヌの物語や伝承、祈りの場、言語に彩られた優れた景勝地を意味します。



議会だよりへご意見をお寄せください！

感想その他、議会だよりに関心のある記事や載せてほしいなど、要望はお近くの議員または議会事務局までお願いいたします。

編集後記

議会広報の初めての発行という事で、ご協力をいただいた関係者の皆様に感謝を申し上げます。

また、何分にも初めてのことで、発行までに多くの日数を要し、内容的にも時期を逸した記事もあり、お詫びを申し上げます。これからは、議会の活動をより正確にわかりやすく、なるべく平易で簡潔な文章にすることで町民が読みやすい紙面にすることはもちろん、町民と対話する企画など、町民参加型の広報づくりに努力してまいりますので、忌憚のないご意見をどしどしお寄せください。よろしくお願いいたします。（高松）

議会広報特別委員会委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 石川 昭彦 |
| 副委員長 | 高松 亮裕 |
| 委員 | 大坂 吉喜 |
| | 笹谷 裕 |
| | 手塚 裕 |